

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより第14号
(令和4年 8月)
文責 西澤 庄藏



県中総体球技・武道競技が開催されました。運動ができる喜びを体感しました。

7/23(土)・7/24(日)長崎県中学校総合体育大会各種競技が県内各地で開催され、本校生徒も女子剣道競技・男子卓球競技・陸上競技に出場しました。

陸上競技で、今村さん(3-1)が共通男子3000m走で8位入賞、3年男子1500m走で6位入賞を果たす活躍がありました。ただ、全体的にどの競技も厳しい結果でした。

試合後に人目もはばからず涙する場面を見るにつけ(一生懸命練習に励んだことを察して)感情移入されると同時に、ほんの一瞬が勝敗を分ける厳しさも痛感しました。選手はどの競技でも試合に臨む態度が立派で、拍手を送りたい心境でした。県内の精鋭が集う場を体感でき、大きな「壁」を感じつつも大きな学びの場ともなった有意義なひとときでした。



剣道競技
決勝リーグの様子から



陸上競技
女子リレーの様子から



【折々の出来事から】(夏休み前半を振り返って)

運動つながりで、7/30(土)・7/31(日)佐々町・佐世保市(旧鹿町町)にて行われた軟式野球部の公式戦【県北軟式野球連盟会長旗争奪大会】を観戦しました。

連日、熱戦が繰り広げられました。中でも、3年生の生き生きとしたプレーが見られ、たくましく成長した姿に感激しました。決勝戦では惜敗したものの、準優勝を遂げる堂々たる戦いぶりでした。

観戦を振り返って、野球場特有の日差しの照り返しもあり、暑さが尋常ではなかったことが印象に残っています。夏休み後半も残暑が厳しいと見込まれ、熱中症対策を万全にした運動部活動の在り方を再考する機会にもなりました。余談ですが、飲水一つ取り上げても、選手のみならず審判への配慮も感じられ、軟式野球部保護者の方々の思いやりある態度に清々しさを覚えました。【写真：上段】

8/4(木)市内の未来創造館にて行われた「ふるさとプロジェクト会議」(旧子ども議会)を参観しました。市内中学校の生徒会役員代表が一堂に会し、従来の子供議会とは違い、座談会形式で進行する交流会でした。本校代表として佐々木さん(2-1)、森下さん(2-1)が参加しました。

本校は輪番で提案役も担いました。特産品の商品開発を通じた魅力化プロジェクトの提案に、他校からの質疑を通じて議論が展開されました。ちらっと見えた本校代表のノートには想定問答が書かれているなど、この会議への思いを汲み取ることができ、責任感あふれる姿勢に嬉しさがこみあげてくるほどでした。

観光業の華やかな面だけではなく、人口減少対策や後継者問題に至るまで、大人顔負けの意見も飛び交い、その思慮深さに感心しきりでした。(平戸市の将来の担い手である)本校生徒会代表も含めて市内の子どもたちのひたむきな態度に、将来を憂慮する思いが払拭されたひとときともなりました。【写真：下段】



1回戦【対 佐々中学校】の様子から

ふるさとHIRADOの発展
みんなで考えよう! 動き

【テーマ】ふるさと HIRADO の発展のために
みんなで考えよう! 動き出そう!

